

デジ漢と「くりかえし漢字ドリル」を使ってテンポ良く、視覚・聴覚に訴える授業を！

デジ漢 × ドリル を併用した授業！



沖縄県宮古島市立南小学校
桑江 桃子 先生

漢の指導は、内容をルーティン化することが大切です。そうすることで、子どもたちは学習の流れが分かり、安心して授業にのぞむことができます。その際に、デジ漢の「書き順アニメーション」や「掲示用漢字カード」をドリルと併用して使用し、日々の指導の効果を上げることができました。

デジ漢

デジタル漢字ドリル

ココがよかった！

活用術！

1 デジ漢

「書き順アニメーション」を使って、目で、耳で深まる学習

空書きを1〜3回行います。「書き順アニメーション」は、漢字を大きく映すことができ、書き順やとめ・はね・はらいの

ポイントも音で知らせてくれるので、視覚的にも聴覚的にも意識して学習することができます。

また、声を出しながら空書きすることで、一画の長さやはね、はらいを意識することができま

す。

空書き用意！
せーの！
いちっ、にい、さあん



2 ドリル

ドリルに指書き+鉛筆書き

書き順を声に出しながら、ドリルに指書き(五回)、鉛筆書きをさせます。

書き順を唱えながら書きましよう。



3 ドリル

3 声に出して部首・熟語・意味の確認

部首などを声に出しながら確認することで、漢字の理解を深めます。

教師…いきまーす。音読みは？

児童…れき！

教師…訓読みは？

児童…ありません。

教師…用例いきます。父の経歴！

児童…父の経歴！

(用例を全て読む)

教師…画数は何画ですか？

児童…十四画です。

教師…部首は？

児童…止(とめる)です。

教師…はい、では次の漢字

いきまーす。

空ペン(空書き)用意！

児童…(手をさっと上げる。)



このようにして一年間デジ漢を使って漢字学習をした結果…

子どもたちの漢字の力は飛躍的に伸びました。子ども

たちは「漢字学習が

楽しかった」と言っ

ています。視覚・聴

覚に訴えるデジ漢の効果を実感しました。

デジ漢



デジ漢に収録されている「掲示用漢字カード」は、教室のドアに貼って、入室するときになぞらせました。簡単に印刷することができますので、短時間で教材準備ができました。



このやりとりはテンポ良くしています。テンポが良いと子どもたちはノリノリ♪

計算の習熟・振り返り 学習がデジ計でラクラク!



東京都在住
N.K. 先生 (30代女性)

計算の学習では、既習の計算を活用して新しい計算の仕方をつくり
ます。そのため、既習事項を活用するこ
とを意識させながら振り返り学習をし、
計算の習熟を図ることが大切です。

デジ計で既習の計算を確認!

二年生で、『2けたの数のたし算』の筆算の仕
方の学習後、習熟させる前に行いました。

2けたの数のたし算は、一年生で習った1
けたの数のたし算を活用していることを確認
させる。

2けたの数の筆算を見て、一年生で習った1け
たの数のたし算がスラスラ答えられたら、2けた
の数のたし算の筆算が簡単にできるということを
子どもたちと確認します。

デジ計

デジタル計算ドリル

ココが
よかった!

活用術!

みんなで「フラッシュカード」に
取り組む。

デジ計の「ふりか
えり計算マップ」で

は、全学年の演算が
系統化された一覧に
なっていて、どの学
年の内容でも、関連
する既習の学習内
容に簡単に戻れる
ようになっていま
す。その「ふりかえ
り計算マップ」から、
一年生の1けたの

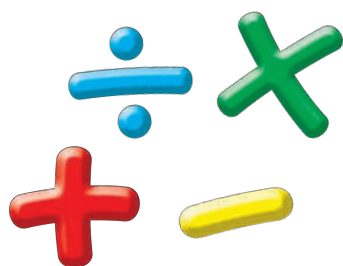


▶ふりかえり計算マップ

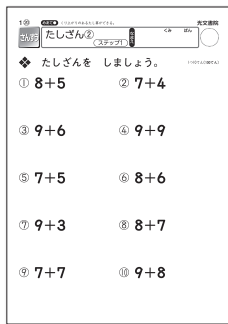
計算の単元が系統
的に並んでいるか
ら、既習の学習内
容にすぐ戻れる!



▲フラッシュカード



「フラッシュカード」
に取り組ませると、
数人の子どもが答え
られずに心配そうな
顔をしていることが
あります。そんなと
きには、デジ計から1けたの数のたし算の「補充
問題プリント」を印刷して、取り組ませます。
そうして、学級の全員が1けたの数のたし算を
十分に習熟できたことを確認してから、2けたの
数のたし算の筆算の習熟に取り組ませます。こう
することで、全員の子どもたちにやる気と自信を
もたせることができます。



▲補充問題プリント

習熟が不十分な子どもには、「補充問題プリ
ント」を配って取り組ませる。

数のたし算の「フラッシュカード」を表示させます。
子ども一人ひとりを順番に当てて、「フラッシュ
カード」の解答を答えさせていくなどして、学級
のみんなに取り組ませ、全員がスラスラと答えら
れるかを確認していきます。